

こんにちは三原じゅん子です

NO. 17 2010年 7月 31日

日本共産党 名張市議会議員

三原 じゅん子

すずらん台西4-202

電話 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！



月に、皆さんの
大きなご支持で議会へ
と送つていただき早4
年が過ぎ、4人の子を持
つ母親として、様々なこ
とに取り組んできました。
子育てに係わる問題の
重要さを改めて感じ、市
民の生活を守る責任を
果たさなければと頑張
っています。やればやる
ほど多くの問題に直面し、
課題は増えていること
を痛感しています。

三原の
意見

早急な保育所民営化は再考を

5月25日の全員協議会で公立保育所民営化実施計画見直し案が提示された。
全園民営化計画をとりやめ、4園のみ公立園を残すことになった。

公立保育所の保護者の声は…



公立保育所運営の財政見通し 三原じゅん子の指摘どおりに

市は「〈早期健全化団体〉におちいるから公立保育所を全園民営化する」と言っていましたが、国からの交付税が見直され、「全園民営化しなくても〈早期健全化団体〉にはならない」と主張を変えました。このことは当初三原じゅん子が「全園民営化しなくとも財政難におちいることはない」と指摘していたとあります。

このように、名張市が進めてきた保育所全園民営化計画は詰めの甘い、ずさんなものであったといえます。

民営化は検証なしに進められています

「保護者の理解を必要とする」と公立保育所民営化要綱の中に明記されています。既に民営化された4園の説明会では保護者からの意見はあまりなく、市は「保護者の理解を得た」としました。しかしこれは保護者が民営化に賛同したというよりは、民営化のプラス・マイナスの判断基準が行き渡っていなかつたのではないかでしょうか？そしてこれら既民営化園の検証もないまま、次年度民営化園の手続きが進んでいます。

蔵持保育所、99%の民営化反対署名

来年度民営化予定の蔵持保育所では保護者が公立存続を求めた1177人の署名とアンケートを市に提出しました。「保護者の理解を得た」とは到底言えない状況です。名張市子ども政策室は「真摯に受け止め熟読する」と答えたそうですが、保護者の切実な想いに市がどう対応するのか、要綱に反することはないか、三原はきびしくチェックしたいと思っています。

お詫びと訂正

前号で〈義務教育は無償という学校教育法に照らし合わせると…〉との表記がありました
学校教育法ではなく、憲法26条でした。お詫びして訂正します。



近大高専に9千万円助成！賛成できません。

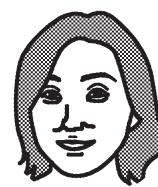
誘致に「財政出動しない」と市長は明言していた

●前市長時代、今の財政難の要因のひとつである大学誘致へ借金までして35億円の助成を行った。

●H22からの3年間で名張市は早期健全化団体になるほど財政は逼迫していると市は主張してきた。



皇學館大学に投入した金額と、大学から市に返還された財源(土地・建物・借金の残額)を差し引きして9千万円なら出せると考えた。



9千万円はワクチン助成に！

子宮頸がんワクチンの接種は11才女児400人で2千万円あれば実施できます。ヒブワクチンも700人が対象として6300万円あれば実施できます。誘致を拒むものではありませんが、

近大には資産も多く、県からも9千万円の助成を得ることになっています。市は限られた財源の優先順位は子どもと、次代の子どもを育む女性の命にむけるべきです。

ヒブはヒトに髄膜炎や咽喉蓋炎を引き起こす細菌。細菌性髄膜炎の3分の2はこの菌(ヒブ)が原因。年間5歳までの子ども600人がこの病による髄膜炎にかかる1歳児に集中し、15～20%の子どもに後遺症が残り、5%の子どもが死亡する。乳幼児では、ワクチンがヒブでなく100カ国以上で定期接種を推奨する声明を出し、現在ヒブワクチンは任意接種で全額自己負担。1回7千円～9千円で1～4回の接種が必要。

●日本外来小児科学界
ヒブワクチン資料より

子どもたちに健全な成長を！高齢者に元気な生活を！

削減ばかりでは元気な名張にはなりません

やります！三原じゅん子

①温かくて美味しい、栄養バランスのとれた中学校給食の実現

県下80%で（デリバリー・ミルク給食など含む）給食が実施されている名張市は注文弁当だけ

②義務教育の通学費自己負担の解消

子ども達が安全で安心して小学校・中学校に通えるように無料のスクールバスを！！

③子どもの医療費は中学校卒業まで無料に！

県下でも小学校卒業までは当たり前。
中学校卒業までの取り組みがすすんでいます。

④高すぎる国民健康保険税、1世帯1万円値下げ

県内で5番目に高い保険料。一般会計から少しの繰り入れと、5億6千万円ある国保基金を活用すれば値下げできます。

⑤70歳以上の高齢者に無料バス・タクシー券を！

高齢者が家にこもるのではなく、出掛けることで生活(買い物)と健康を守り、経済の活性化にもつながる。

どの自治体も財政は決して楽ではありませんが、
これらのこととは取り組まれています。

名張市は、税金の使い方を市民の生活に向けるべきです。

